

2025年度 静岡学園中学校・高等学校 外部評価委員会

【開催日時】 第1回 2025年10月29日(水)13時30分より
第2回 2026年 3月 9日(火)13時30分より

【会 場】 本校役員会議室

【出席者】 外部評価委員（以下に詳細を示す）
本校管理職、分掌部長、中学主任・学年主任

外部評価委員

1. 委員長 村山 功 静岡大学教育学部教授 (学識経験者)
2. 副委員長 浅井 伸祐 鈴与株式会社副社長 (学識経験者)
3. 委員 築地 茂 静岡新聞社編集局 (学識経験者)
4. 委員 望月 弘敏 元公立中学校校長 (公立中学校長等経験者)
5. 委員 谷口 弘行 春日町町内会長 (近隣の町内会会長)
6. 委員 橋本 泰志 静岡学園中高同窓会長 (同窓生代表)
7. 委員 石田 和彦 静岡学園中高PTA会長 (PTA代表)

※ 学校自己評価表及び外部評価委員評価表は5月15日より本校ホームページ上に公開予定。

2025年度 外部評価委員による評価表

静岡学園中学校・高等学校

【総合所見】

◆アンケートや日常の観察により生徒の実態を把握しながら教育活動を改善している様子がよくわかります。すべての生徒に指導を行き渡らせることは困難であり、そこに力不足を感じていると見受けられる部分もありますが、個別指導を頻繁に行うなどかなり丁寧に取り組んでいると感じます。

◆少子化また高校授業料の無償化等により、公立・私立の立ち位置が大きな変革期を迎えている中、静岡学園が選ばれるためには、他校との差別化を図る学校運営のさらなる戦略が望まれます。そのうえで、静岡学園に籍を置く生徒は、多様化する生徒の個性に合った教育が受けられ、生徒の人間力を育てる学校であるという評価が定着することに期待しております。

◆年々、目標、施策がきちんと精査できているので、全体的には、外部評価として高評価です。一方、昨今注視したいメンタルヘルス相談の対応では、苦慮されることが多いと思います。減少傾向にはならないと思いますので、万全の対策(医療関係機関との連携強化)を図るようお願いしたく存じます。

◆外部評価委員会での報告を聞くと、おおむね計画通り進んでいるという印象を受けました。中でも生徒の自主性・主体性を育むこと、立ち直りの力を養うことは、生徒の将来を踏まえて重要だと思います。高校無償化に向けた国の予算付けも順調に進みそうなので、財務状況は向上すると思います。その利点を総合的な教育環境の整備や向上に活用することを期待します。／ 今春の静岡県中部地区の公立高校入試では、静岡高校で 83 人も不合格になる一方、清水東高校で理数科、普通科ともに再募集となったことが話題になりました。今後、少子化や高校無償化の影響が公立高校入試に、さまざまな形でよりはっきりと表れてくると思います。そのためにもブランド力の向上は欠かせません。／(交通安全について)自転車の交通反則切符制度(青切符)への対応、ヘルメットの着用について対応が図られていると伺いました。社会規範やルールを順守し、自他の安全を確保するのは大事なことです。着実に進めていただきたいと思います。／(危機管理について)外部評価委員会開催後に、沖縄県で研修旅行(修学旅行)中の高校生が亡くなる海難事故が起きました。事故の原因と責任の捜査は海上保安庁が進めていますが、生徒を任せた学校側の安全確保が十分だったのかも問われています。校外活動で生徒の安全をどうやって守るのか、予見可能性と結果回避義務が尽くされているかどうか、重ねて検討する必要があります。／外部評価委員会でネット動画対策とリスクマネジメントに関する言及がありました。考えられる想定への準備はしておく必要があります。校長、副校長を司令塔としての確に对应してほしいと思います。

学年 教科 分掌	担当	No.	2025年度重点目標	委員 による 評価	外部評価委員の意見及び次年度への提言
教務部	教務課	1	教務課から全教員への周知事項を徹底し、全教員が共通認識を持って教育活動を行い、教育活動の円滑な推進を図る。教務備品の管理を確実にする。また、土曜授業や受験対策講座を含む学校行事について、先を見通しながら企画・情報配信を行う。	A	◆よく管理されていると思います。一方、リスク管理への警戒も怠らないように、今後はチェック機能も少し強化されると良いと思います。◆新しいことに取り組みばかりではなく、小さな工夫を積み重ねながら本来的な業務を確実にかつ効率的に進めていることは、とても評価できる。
		2	教育活動が滞ることがないように配慮する。教務備品の管理を確実にする。また、土曜授業や受験対策講座を含む学校行事について、先を見通しながら企画・情報配信を行う。	A	◆部課長会議の頻度が先生方の負担になっていなか気がかりです。臨機応変に徐々に回数を減らしたり、また臨時で開催するなど、運営側の対応も次年度以降は考慮してもらえたら幸いです。◆新しいことに取り組みばかりではなく、小さな工夫を積み重ねながら本来的な業務を確実にかつ効率的に進めていることは、とても評価できる。
		3	教務課内の協働体制の強化に加え、日課業務について情報管理課と連携し、協働体制を築き、関連する業務を共有し協働体制を整える。	A	◆数値管理できるものは、もっと表面化していきましょう。◆新しいことに取り組みばかりではなく、小さな工夫を積み重ねながら本来的な業務を確実にかつ効率的に進めていることは、とても評価できる。
	情報管理課	4	静岡県「ふじのくに学校教育情報化推進計画」・法人の新高校整備計画・情報セキュリティ基本方針・インフラ整備提案依頼書などに従った情報システムを構築する。	A	◆インフラ整備を限られた予算内で施行していくのが大変だと思いますが、計画通りに実行することを毎回確実に施してください。お疲れ様です。◆情報インフラとなるハード整備は確実に行ってください。◆特筆する必要があること含まれているが、全体的には不十分改善を行っている。
		5	教務課・研修課・進路部・生活部と連携し、各アプリケーションにおける操作、データ連携を高める。	A	◆大事な内容な上に、よく管理されていることは伝わりました。一方、数値化できる内容だと思っておりますので、次年度には数値入力いただけますと幸いです。◆改善のために様々な取り組みを行ったことは評価できる。ただし、目指した結果が達成できたかどうかについては、今後継続観察する必要があります。
		6	生徒が1人1台端末を利用して主体的な学習に取り組むことができるように、ネットワーク環境を整える。	A	◆情報社会の進展がますます世の中において、取り組んでいる内容は至極当然の状況かと思っております。生徒からの評価アンケートも交えたりして、管理側への反映も必要になると思っておりますので、参考にしていただけます。◆必要な行動をとっているのは確かだが、目標に対して優れた取り組みとまでは評価できない。また、「主体的な学習に取り組む」の部分に対応する取り組みはなく、そもそもこれを情報管理課の目標とすること自体に違和感がある。
	研修課	7	研究授業を教員の授業力向上に役立てる。	B	◆生徒にとって毎日の授業が、学校生活の中で大きなウエイトを占める。授業の充実とそれに向けた教員の学ぶ姿勢が生徒に大きな影響を与える。引き続き研修の充実を努めたい。◆優れた教員の授業方法などの有効活用と共有化に期待します。◆新任へのサポートが上手く行えたことは高評価です。手法として毎年継続すべきところは実行し、逆に若手職員の提案も反映できるような双方向の改善案も前向きに検証していきましょう。◆授業力向上は学校教育の生命線です。一層の研さんを求めます。◆すべての目標を達成することはできなかったが、新任教員の研修に力を入れるなど、適切な目標を立てて実施していることは評価できる。
		8	授業評価アンケートを活用し、教員の授業改善を行う。	B	◆授業評価アンケートを活用し、より良い授業内容になることに期待します。◆計画実行共によくできていると思います。◆7月のアンケートを中止したことで目標の達成が不十分だったという自己評価は受け止めざるを得ないため、B評価とした。ただし、それは昨年度の決定によるものであり、来年度には復活させることを決定しており、適切な対応が行われている。
		9	校内・校外研修を通じ、教員の資質・能力を向上させる。	B	◆研究授業と授業アンケートの効果的な運動による運営に期待します。◆アンケートを反映しようとアクションプランを立てているところが高評価です。◆取り組みがなされているのは確認できるが、もつてできることがあったという自己評価を尊重したい。また、校外研修の参加者延べ数は、予定通りであったのか結果的に得られた数値なのかによって、評価は異なる。
生活部	生徒指導課	10	生徒の自主性、主体性の育成を目指した生徒指導。	A	◆生活指導課の施策は、内容が大事ですが、あえて3つに分散しなくても2つにして今まで通りに管理してもよいかな、と思いました。◆自主性、主体性をはくむ教育を伸ばしてください。◆生徒が活動的であることはよく理解できるが、ベクトルキャッチアップ回収などの活動の企画者が生徒かどうかわからず、目標に示された自主性・主体性がどこまで実現できているかが評価できない。
		11	学校生活における基本的な生活習慣の習得、自らルールを守る心づくりを目指した生徒指導。	B	◆基本的な生活習慣の習得は勉強より重要です。全員がルールを守る意義づけをお願いします。◆ルールを守らせるため、範を示す所作など、教員にも求められたいと思いますので、今一度燃元を正しましょう。内容は、よく管理されています。◆社会規範やルールの順守は今後の生活に欠かせないでしょう。しっかりと習慣づけることが求められます。◆やるべきことは決まっているが、継続性や徹底性にやや欠けるところが課題である。
		12	生徒の安心・安全を目指した生徒指導。	A	◆重要項目です。次年度以降もしっかり監督願います。◆問題への個別対応を確実にしていることは評価できる。
	保健衛生課	13	健全な学校生活を送れるように、生徒自身が心と体の健康を管理できるようにする。	A	◆今まで以上に神経を使う取扱い事項につき、担当される皆様にご敬意を表します。◆ルーティンをきちんとこなしていることに加えて、情報の共有や問題の発見に力を入れていることは高く評価したい。
		14	感染症の予防、対策を行う。	A	◆当たり前の日常を維持するための感染対策は、抜け目のないように注力願います。◆取り組みはルーティンワーク化しているが、成果が出ているのであればあえて新規性を求める必要はない。(ただし、高校2年部の記述は校外であるものの、それとの間に齟齬があるのではないかな)
安全整備課	15	自ら立ち直る力の育成と他者と共生できる力を育てる。	A	◆よく管理できているもの。継続実行をよろしく願います。◆きちんと現状把握を行っていることに加えて、静岡県に先駆けてSELを実施していることは評価できる。	
	16	(防災関係)常時・非常時における防災安全体制の構築	B	◆常に最新情報に基づくマニュアルの改訂と定期的に実効性ある訓練の実施に期待します。◆計画・実行共によくできています。次年度以降もよろしく願います。◆防災関連対応は常にアップデートすることを望みます。◆いつもの取り組みがなされているのは確かだが、成果としてみると目標に対して十分とは言えない。	
	17	(整備関係)定期点検や危険箇所への対処を万全なものとし、生徒・教職員が快適に活動できる環境を整える。	A	◆管理ができています。来年以降もよろしく願います。◆こうしたルーティンワークをきちんと行うことが、適切な環境の実現に確実につながっている。	
進路部	進路指導課	18	進路シラバスに基づいた進路指導計画を実施し、生徒の進路実現の意識を向上させる。	A	◆生徒に寄り添う具体的な施策が高評価です。◆指導計画を実施したことは評価できる。しかし、生徒の進路実現の意識の向上がどのような行動に現れたのかわからないため、目標を達成したとは評価しづらい。
		19	大学進学数値目標(国公立大学100、難関私立大学120)達成のために、補講を計画・実施するとともにテスト分析とフィードバックの仕組みを構築する。	A	◆結果評価が求められます。25年度の目標達成度合いを評価し、今後に役立ててください。◆目標には届いていませんが、手応えがあった報告を受けました。次年度以降に必ずフィードバックして目標数値には届く努力はもう一度行いましょう。◆外部講師による指導も含めて、データを活用した取り組みが進んでいることは評価できる。
		20	生徒一人ひとりの進路希望を実現するために、きめ細かな指導体制を確立する。	A	◆相乗効果もあると思いますが、生徒同士のロコミが一番好評に響く要因だと思います。この調子で継続願います。◆個々の取り組み自体は当然行われるべきものだと思うのですが、そうした取り組み全体が組織的に実施されている点は評価できる。
学び支援課	21	SGTの外部講師講座は、毎年新しい講座を加えると同時に見直しを図り、体験を通じて各生徒の特技を増やしたり高めたりすることで、今後の生活で生かせる講座を提供できるようにする。	A	◆SGTの広報活動を在校生はもちろん、保護者をはじめとした外部にも充実させ、静岡学園の魅力の発信にこれまで以上に努めたい。◆SGT活動はかなり特徴ある活動だと思います。PTA、後援会、同窓とも更なる連携が図れば、運営側サポートのボランティアスタッフも協力できるのではないかな、と思います。先生側の負担軽減策も加味願います。◆SGTの伝統に甘んじることなく、新しい取り組みが生まれていることは評価できる。	
	22	SGTの講座の広報活動を工夫し、SGTの参加率を高める。	A	◆もっとクラウドアップされるべき内容だと思います。絶対PR不足が要因だと思いますので、「見せ方」に注力していきましょう!◆目標に即した取り組みは行っているが、結果の分析が適切に示されていない。	
	23	分掌組織として機能するように、分掌内や関連する分掌外の組織との連携を図る。	B	◆巻き込み上手になっていけたらいいですね。◆きちんと成果を上げている一方で、関与に偏りが生じていることから自己評価をBとしている点に、意識の高さを感じる。全教職員が多忙である現状で回せる仕組みを何とか生み出してもらいたい。	
総務管理課	24	入学式、始業・終業式、体験入学、入試説明会などの行事を、丁寧に遂行する。	A	◆うまく遂行できていると思います。◆丁寧に遂行するという目標にふさわしい取り組みがなされている。	
	25	開校記念式・記念講演や芸術鑑賞などを通じ、良質な文化資本を提供し蓄積する。	A	◆運営側の経験値もかなり上がり、進行がスムーズだと思います。◆生徒に文化資本を身体化させるという目標自体に高い志を感じる。また、それにふさわしい取り組みを行っている。	
	26	PTAや同窓会などの活動を通じ、在校生の応援団となるよう、ご縁を結び絆を深める。	A	◆機能していると思います。継続していきましょう。◆保護者の自発的な活動に甘んじることなく、事務局を含むTがPとAssociateしようとしていることは評価できる。同窓会等も同様である。	
図書	27	自分と他者との違いを知り、尊重しあうことのできる心を育てる。	A	◆細やかな点も含め大変よく遂行されていると思います。◆教職員の努力もすばらしいが、高校における図書委員会活動等が低下し続けている中、生徒の活動を維持していることは評価できる。	
	28	「感謝する心」や自分の考えを言語化し表現する機会をつくる。	A	◆ピリオドバトルへの参加は良い機会でしたね。チャレンジしている生徒がどんどん出てくることを期待したいです。◆図書館という場所や個人の読書にとどまらず、学校内外の交流につなげている点が評価できる。	

学年 教科 分掌	担当	No.	2025年度重点目標	委員 による 評価	外部評価委員の意見及び次年度への提言	
務 理 部	課	29	仲間をつくることも、一人で過ごすこともできる。安心な場所を提供する。	A	◆関わりが薄くなる傾向にある生徒にとって、これまで以上に重要な場になってくると思われます。さらなる充実が求めたい。◆図書室としての存在意義をあらためて考える良い機会だった一年でした。計画・施策ともに高評価です。◆生徒が活動を担っていることが評価できる。	
		30	現行の国際交流プログラムをさらに活性化させ、生徒に多様な機会を提供す	A	◆ここ数年厳しい環境下でも、特色を生かした対応ができていると思います。◆単に生徒を海外に送り出すという以上に厚みのある取り組みが行われている。	
		31	新たな交流校を探すと同時に、以前の交流の復活も目指す。	B	◆国際情勢を考えると大変厳しい状況にあると思われしますが、引き続き尽力したい。◆困難な国際情勢にありますが、若い人に求められる重要な事項です。今後も幅広い国際交流に期待します。◆社会情勢に左右されることもありますが、東南アジアへの留学でも十分な効果が期待されるため、定番のAUS、NZ、CA、USAに限らず、少しでも安い国で教育熱心なアジアにも留学できる体制を整える準備も積極的に実施してみたいかがでしょうか。◆国際交流が世界の情勢に左右されるのはやむを得ません。その中で最善を尽くすことを期待します。◆相手のあることなので思い通りに行かないことは理解できるが、訪問や留学生の受け入れは全校の生徒にとってよい機会となるため、是非実現してほしい。	
学 年	国際 交流 課	32	留学・海外研修・国際交流に関する情報を整理して、生徒に提示する。	A	◆国際社会の場ではZOOM等によるコミュニケーションも相当発達してきました。SNSも含め、国内にいてもどんどん交流できる場の設置を試みて、まずは学生同士の距離感を縮める施策をトライしてはいかがでしょうか。◆学校が主体となって行うオーストラリア研修以外にも、機会の拡大に取り組んでいる点は評価できる。	
		中 学 部	33	生徒・保護者・地域に信頼される、魅力的な教育活動の場をつくる。	A	◆中学校部経営の充実が今後の静岡学園の経営を支えると思う。引き続き尽力したい。◆目標に対する具体的な施策がきちんと遂行できていると思います。◆具体的な事項には様々な取り組みが示されている。その結果として魅力的な教育活動となっているかは生徒・保護者・地域の判断によるが、アンケート等に基づいて確認されている。
			34	知識や言葉を使いこなし、主体的に学習する姿勢を身に付け、再現性のある学びを習得させる。	A	◆中学生にとり、再現性のある学びとして、探究心をもたせる施策は効果的であったと思います。継続して、静学中の特色あるものになりたいですね。◆具体的な事項に基づけば十分に目標を達成したと評価するに値する成果である。
	35		学校内外の多様な集団活動を通して、自律的に行動する力を育成する。	A	◆計画・施策・評価を併せ、次年度以降への反映を組んでいただければ、次年度以降の成果に大いに期待できそうですね。◆上記2つにも共通するが、生徒の成長を観察に基づいて評価しており、信用できる自己評価となっている。	
	高 校 1 年	36	高校生活における、基本的な学習習慣の構築を測る。	B	◆目先の成績にとらわれず、生徒の個性を伸ばす学習環境の整備に期待します。◆入学当初は、毎年、不安要素が多いものですが、1年経過すると、結果目標通りになるのは、先生方のご尽力の賜物だと思います。このまま施策などを継続していきましょう！◆学習習慣と学力は関連するものの、効果的な学習方法を用いているかなどが影響するため、学習習慣だけで学力が向上する訳ではない。学習習慣は学習習慣として評価すべきであるが、その記述がない。	
		37	生徒が安心して生活できる環境を整え、学校生活の基礎の確立を図る。	A	◆問題なく、遂行できていると思います。◆個別対応、集団への指導、保護者との情報共有など、適切な取り組みが行われている。	
		38	進路選択に向けて、よりよい進路選択に向けて組織的な進路指導体制を構築す	A	◆目標・施策共によくできていると思います。◆取り組みが成果を上げていること自体は評価できる。ただし、文部科学省が文理融合を目指している点についての検討も必要ではないか。	
	高 校 2 年	39	それぞれの進路展望、折々に為すべきことの自覚、1自分ごととしての学業への取り組みを実現する。	B	◆生徒の得意分野のレベルアップに向けた指導に期待します。◆中だるみする学生も出てくる中、しっかり先を見据えさせている努力が報われた一年でしたね。◆自分ごととしての学業への取り組みと学力は関連するものの、それだけで学力が向上する訳ではない。学業への取り組みはそれとして評価すべきであるが、自己評価通り目標を十分に達成したとは評価できない。	
		40	部活動やSGT、生徒会活動などに主体的に取り組む、また中核を担う意識を持たせる。	A	◆転学者が3名に抑えることができたのは過去一ではないでしょうか。今年の施策内容を分析して、次年度以降も継続できるといいですね。◆高校生活が充実していることが確認でき、高く評価したい。	
		41	生徒が安心して生活できる環境を維持しつつ、孝友三心の哲学やスクールポリシーを理解・徹底させる。	A	◆本校の特色を生かしており、高評価です。◆修学旅行先での保健衛生についての検討がなされたかどうか気がかりである。	
	高 校 3 年	42	生徒一人ひとりの進路希望を実現させるため、集団としての学力向上を図るとともに、きめ細かな個別指導を充実させ	A	◆うまく遂行できていると思います。◆電子出願に関しては一部でトラブルの報道もあったので、本校では指導の効果があつたかどうか気がかりである。	
		43	最高学年としての自覚を持ち、学校行事、部活動、学習活動など、学校生活全体に主体的に取り組む姿勢を醸成す	A	◆計画通りできたと思います。◆取り組みは行われており、一部にはその成果が現れているが、来年度以降は全体へ広がることを期待したい。	
		44	適切な生活指導を行い、生徒情報を学年間で密に取ることで、生徒たちが落ち着いた学校生活を送ることができる土壌を作る。	B	◆受験生の生活面は、特に細やかな点でフォローや、確認が必要になると思います。細かい情報も、しっかり次年度以降に反映できるようにバトンを渡してあげてください。◆指導を全員に行き渡らせることは困難なことではあるが、自己評価を尊重してBと評価することとした。	
	教	国 語	45	自らの目標に向かって主体的に学習に取り組む生徒の育成	A	◆最も大切にして欲しい教科です。生徒への熱い指導を求めます！
			46	共通テストや新指導要領に対応した、効果的な指導方法の開発と授業改善	A	◆テストの結果で、生徒への関心度も向上すると思います。まずは少しでも点数UPを目指す指導も継続願います。
47			大学入試に対応できる学力の育成	A	◆学校側の入試対策はほぼ確立されているのではないのでしょうか。あとは、生徒にどれだけ自信をつけさせるか、難課題ですが、ぜひチャレンジ願います。	
(地 歴・ 社 公 民)		48	生徒の学ぶ意欲、主体的に学習に取り組む姿勢の育成	A	◆目標、施策共に充実していたと思います。	
		49	新入試や新指導要領に対応した授業の改善	A	◆まずは今年度の新たなステージでのチャレンジの中で、得ることも多かったのではないのでしょうか。次年度以降に必ず反映願います。	
		50	大学入試に対応できる学力の育成	B	◆目標は未達のようなのですが、全国平均を上回ったことを評価します。◆目標には届かなかったとはいえ、平均超えは及第点として捉えましょう。その上で、次年度以降に反映できるよう施策をしっかりと準備していきましょう。	
数 学		51	自ら学ぶ意識を持ち、主体的に学習に取り組む生徒を育成する。(指導)	A	◆施策の工夫もあり、高評価です。	
		52	多様化する入試に対応できるような指導方法を研究する。(教材研究)	A	◆やれば必ずできる教科です。このまま継続した施策で愚直に指導願います。	
		53	教員の教科観の共有、授業内容・指導方法・評価方法を検討する場として教科部会を機能させる。(組織)	A	◆研究課題がでたようですが、概ねうまく遂行できていると思います。	
理 科		54	生徒の興味や関心を引き出し、主体的な学習姿勢を育成する。	A	◆工夫した授業が功を奏しているのではないのでしょうか。このまま継続施策をお願いします。	
		55	学力向上に向けた指導内容や指導方法などの検討を進める。	A	◆よく連携が図れた体制が取れているようですね。	
		56	薬品および備品の精査と点検	A	◆適正な管理に努めてください。◆安全第一で、引き続き管理を厳重にお願いします。	
英 語		57	組織的な指導体制を強化し、生徒一人一人の進路実現のための学力をつけ	A	◆英語に力を入れ、学校の特色を出す私立高校が多いと思います。本校もまずまずの結果ゆえ、誇っていきましょう！	
		58	観点別評価の項目を整理し、デジタル教材を有効活用しながら公平な評価を	A	◆先生方の連携も取り入れ、全体として底上げできる施策も次年度以降は考慮されると良いと思いました。負担増であれば、必ずしもデジタルにこだわらなくても良いと思いますので。	
		59	実用英語技能検定などの、4技能資格試験における取得率、およびスコアの伸長を図る。	A	◆資格サポートも大事ですので、特色が出るように、しっかり継続願います。	
保 健 体 育	60	十分な基礎体力と実践的な知識・技能の習得を促し、生涯にわたって運動やスポーツへの興味・関心を持ち、主体的に実践できる資質を育成する。	A	◆計画、施策ともに遂行できていると思います。		
	61	十分な運動量を確保することで生徒の体力向上を図るとともに、問題発見・解決能力を高め、適切な方法を導き出す力を育成する。	A	◆動画の取り扱いには十分注意願います。		

学年 教科 分掌	担当	No.	2025年度重点目標	委員 による 評価	外部評価委員の意見及び次年度への提言
	芸術	62	合併授業や分割授業の特性を生かし、生徒の満足度をさらに高めるとともに、安全面への配慮や、きめ細やかな指導の実践に努める。	A	◆高評価です。
		63	教科の本質を踏まえた授業により、生徒が生活や社会の中で芸術や芸術文化と豊かにかかわる資質・能力を育成	A	◆評価の難しい分野ですが、生徒の持つ知識・技能また思考・判断・表現力や主体的に取り組む姿勢の向上が図られる指導に期待します。◆計画通り、うまく遂行できていると思います。
		64	教科の特質に応じた「見方・考え方」を働かせ、社会や文化と深くかかわる学習過程を創造する	A	◆施策が素晴らしいので、次年度以降の継続をお願いします。
		65	表現能力の基礎となる「プレゼンテーション・リテラシー」を生徒一人ひとりが身に付け、文化の異なるグローバルな他者と思いやアイデアを共有する	A	◆高評価できる内容だと思います。次年度以降の反映もよろしくをお願いします。
	技術・ 家庭	66	生徒が授業内容と自分の生活とのつながりを考え、何のために学ぶのかを理解し、協働的な学びを通じ広い視野に立つてものごとを見る姿勢を身に付け	A	◆目標、施策共にきちんと遂行されたと思います。
		67	実技・実習などの実践的・体験的活動を通して科学的な理解を深める。また、製作を通してものづくりの喜びを知らせ	A	◆大変よく遂行できていると思います。
		68	生徒が安全に実習・製作に取り組めるよう実習室の環境を整備する。	A	◆よく管理できています。
	情報	69	生徒一人一人の好奇心を高めながら、情報機器を表計算による統計処理や情報整理、プレゼンテーションによる表現の道具として適切に活用できるように育成する。	A	◆目標に対し、施策が十分対応できており、高評価です。◆「情報」は文系・理系を問わず、これからの人材育成には欠かせません。しっかりと基礎を身に付けることを望みます。
		70	情報の収集・処理・表現を通して広くコミュニケーション能力を養い情報社会に積極的に参画する態度を育てる。	A	◆注意を要する内容だと思いますので、取り扱いには十分配慮して次年度以降の対応も継続願います。
		71	共通試験に向けて新たに加わった情報への対応を行う。	A	◆良く遂行できております。
	事務局	総務課	72	財務状況の改善	A
73			施設・整備の新設・更新及び修繕の計画的な実施	A	◆良く管理できております。◆計画通り進捗している点が評価できる。
74			特別会計の財務状況の把握と有効活用 の検討	B	◆目標、施策共によくできております。◆授業料の値上げがどのような形で生徒に還元されるのか。明快で丁寧な説明は欠かせないと思います。◆学費値上げによる支出計画の変更は総務課のみで決定できることではないため、進捗が遅れていることは理解できる。
学務課		75	学納金の確実な収納	A	◆きちんと遂行できています。◆システムの統一とチェック体制の充実により、作業の確実性が高まっている。
		76	入学定員の確保(中学90名、高校360名)	A	◆生徒・保護者から選ばれる戦略の構築に期待します。◆目標に対し、施策が機能しており、高評価です。◆取り組みの改善により目標を達成したことは、評価に値する。
		77	特待生制度の検討	A	◆生徒・保護者から選ばれる戦略の構築に期待します。◆良くできています。◆学業、人格ともに総合的に優れた生徒を育ててください。◆制度を活用し生徒も学校もWin-Winの結果となったことは評価に値する。